



# = 22 = 大淵通水

昭和40年3月25日  
(富士本)



安全でおいしい水の供給を

富士地域の水道事業は、昭和六年に始まりましたが、現富士市上水道の形態は、昭和四十一年の合併後、実質的に創設されたといえます。昭和四十二年からの第三期、昭和四十六年からの第四期拡張事業により、現在の水道施設の形態が確立され、安全でおいしい水を、皆さんの家庭にお届けしています。

## 水を大切に使うってほしい

上水道が通る以前、私が住んでいる地区の生活用水といえば、雨水でした。雨どいを伝った雨水をタンクに集め、台所や、お風呂で使用していました。飲用水は、近くにある沢に井戸があったため、そこへくみに行きました。暮れになると正月の準備のために、皆が列をつくるほど水は貴重でした。水くみは、肩にてんびん棒を担いで、舗装されていない道を何往復もして大変でした。また、水道管を市と地区が協力して通したことも、いい思い出です。

当時に比べると、今の生活は夢のようですね。水道が引かれ、今では水のある生活が当たり前になっていますが、もっと水を大切に使うってほしいですね。



当時の様子を語る  
村松 延郎さん  
(大淵)

## こちら編集室

ピラミッド、マチュピチュ、ギリシャの神殿... 遺跡というのはどこか謎を秘めていて、好奇心をかき立てますね。今回、富士市の古墳特集を担当し、こんなに身近にも、貴重な遺跡があったことを初めて知りました。歴史で習ったできごとが、実

際にここで繰り広げられていたかと思うと、不思議な感じがします。

私たちが暮らしている毎日も、未来の歴史の授業で紹介される日が、いつか来るのでしょうか? 「この時代はよかったね」と言われるような世界になるといいな... (り)

人口	243,128人 (前月比+196)
男	120,831人 (+118)
女	122,297人 (+78)
世帯	86,810世帯 (+294) 5月1日現在
編集・発行	富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100	
☎0545-51-0123(代) ㊟0545-51-1456	



平成十七年六月五日号(毎月五日・二十日発行)

ホームページ <http://fujishi.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています